

問 26 問 25 で「1. 働いている」と答えた方におうかがいします。
 あなたの職場では、男女差別がありますか。

職場での男女差別の有無については、「ある」の割合が 23.7%、「ない」の割合が 75.3% となっています。

また、平成 13 年度調査結果と比較すると、「ない」の割合が高くなっています。

性別で見ると、大きな差異はみられません。

性・年代別で見ると、他の年代に比べ女性の 20 歳代で「ある」の割合が高くなっています。また、他の年代に比べ男性の 20 歳代で「ある」の割合が高くなっています。

図 職場での男女差別の有無

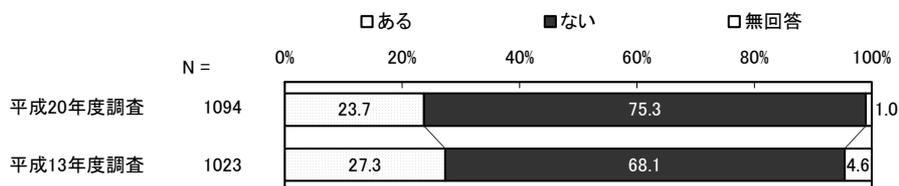


図 性別でみる職場での男女差別の有無

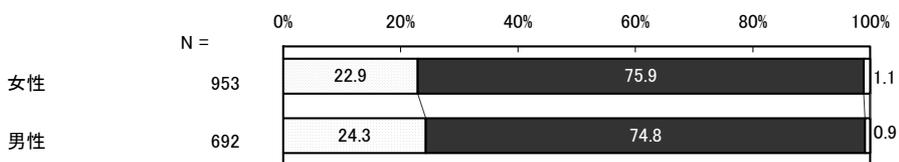
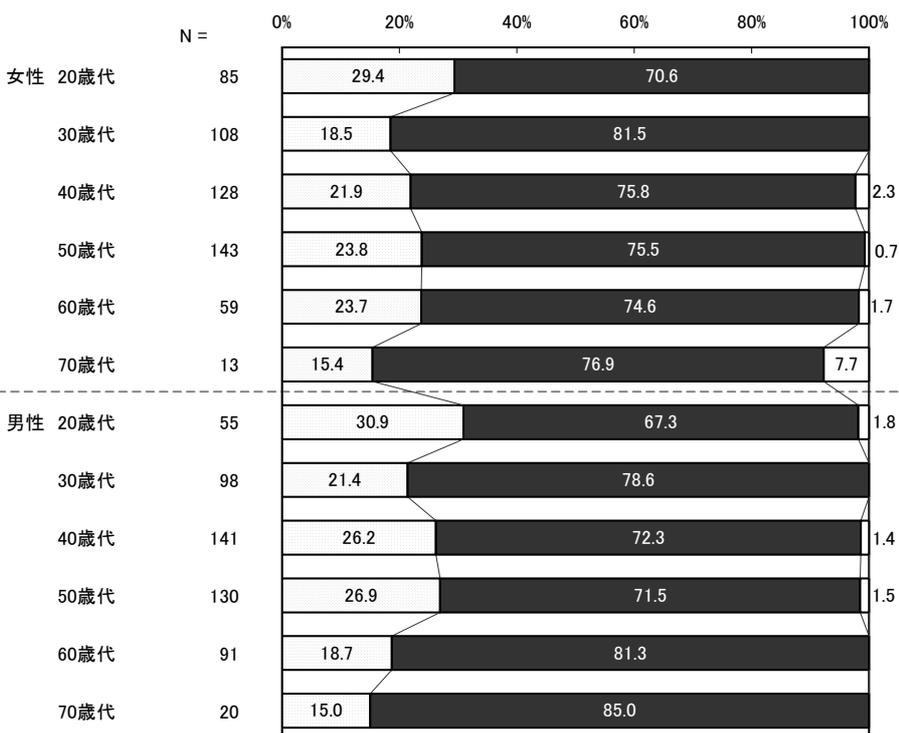


図 性・年代別でみる職場での男女差別の有無



問 27 問 26 で男女差別が「1. ある」と答えた方におうかがいします。
 あなたの職場では、どのような男女差別がありますか。(あてはまるものすべてに○)

職場での男女差別の内容については、「仕事内容に差別がある」の割合が最も高く 56.4%となっており、次いで「賃金・昇給に差別がある」の割合が 40.2%、「昇進・昇格に差別がある」の割合が 30.9%となっています。

また、平成 13 年度調査結果と比較すると、「仕事内容に差別がある」、「賃金・昇給に差別がある」、「昇進・昇格に差別がある」、「能力の評価に差別がある」の割合が低くなっています。

性別でみると、男性に比べ女性で「賃金・昇給に差別がある」、「昇進・昇格に差別がある」、「能力の評価に差別がある」の割合が高くなっています。また、女性に比べ男性で「仕事内容に差別がある」の割合が高くなっています。

性・年代別でみると、女性の 60 歳代で「賃金・昇給に差別がある」の割合が高くなっています。また、男性の 20 歳代で「仕事内容に差別がある」の割合が高くなっています。

図 職場での男女差別の内容

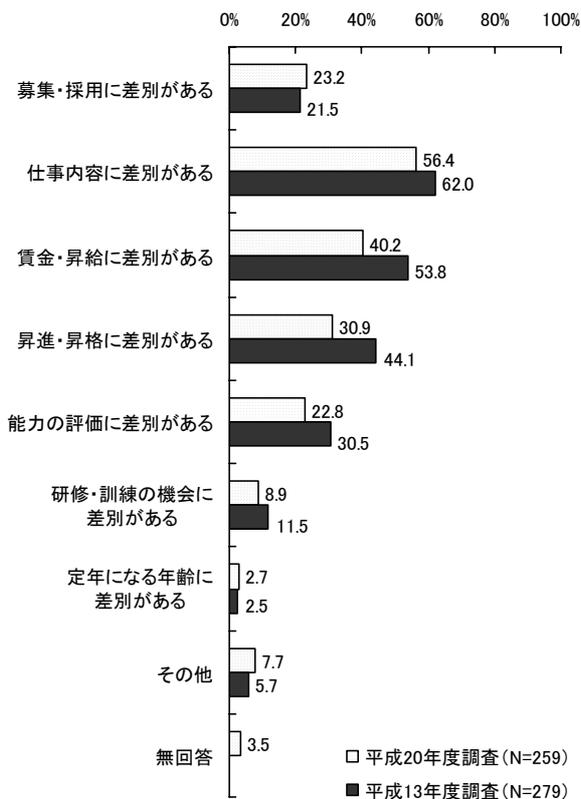


図 性別でみる職場での男女差別の内容

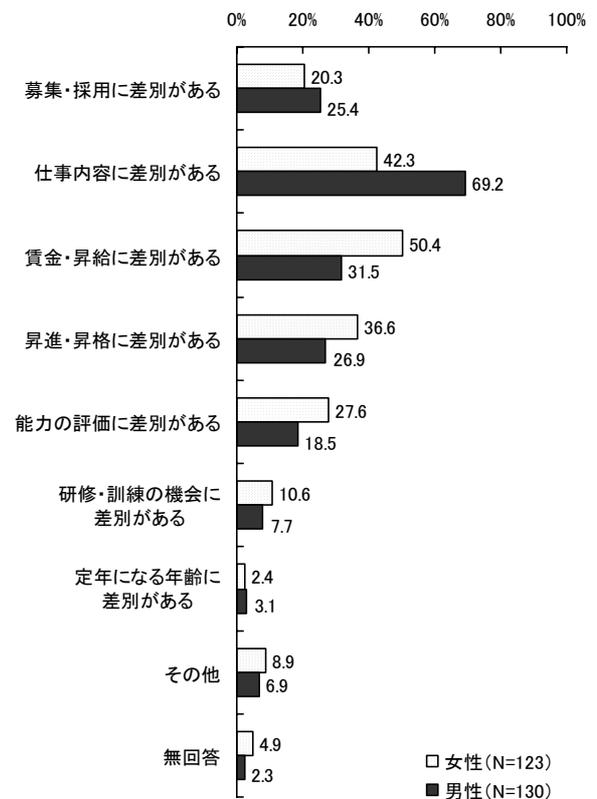
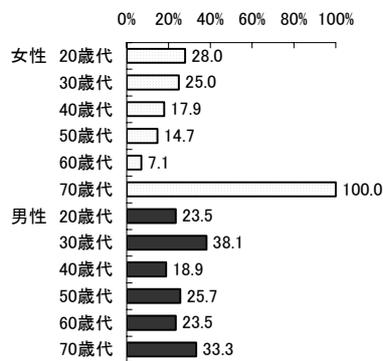
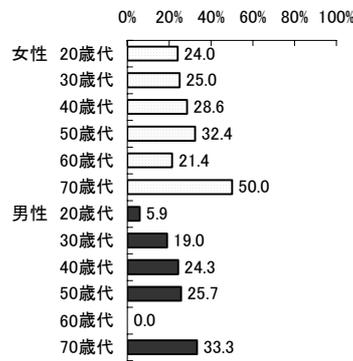


図 性・年代別でみる職場での男女差別の内容

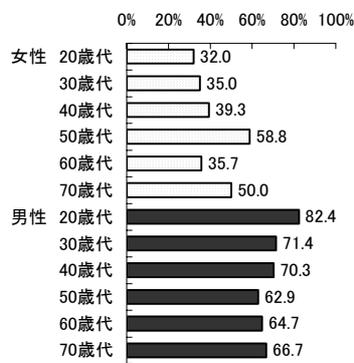
募集・採用に差別がある



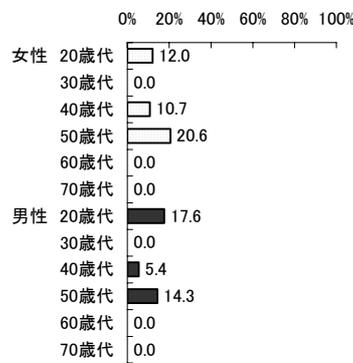
能力の評価に差別がある



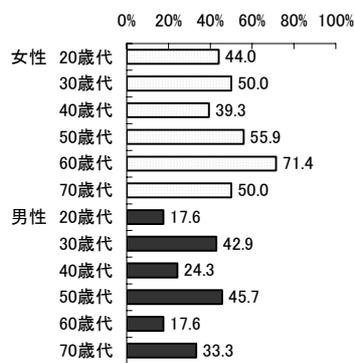
仕事内容に差別がある



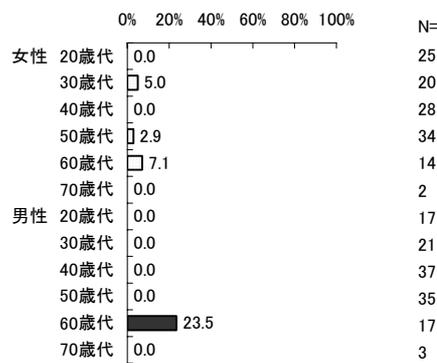
研修・訓練の機会に差別がある



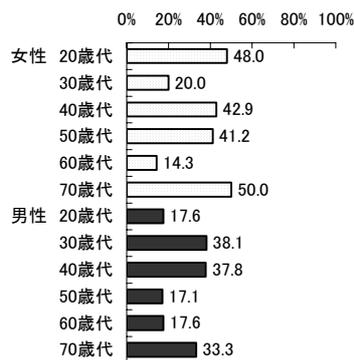
賃金・昇給に差別がある



定年になる年齢に差別がある



昇進・昇格に差別がある



問 28 あなたは、職場の男女差別の原因はどこにあると思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

職場の男女差別の原因については、「男・女という性別によって役割が違うという意識」の割合が最も高く 47.1%となっており、次いで「肉体的・体力的な差」の割合が 41.7%、「女性は結婚や出産、育児のために働き続けにくい」の割合が 40.5%となっています。

また、平成 13 年度調査結果と比較すると、全ての項目で割合が低くなっています。

性別で見ると、男性に比べ女性で「職場での男性の女性観」の割合が高くなっています。また、女性に比べ男性で「肉体的・体力的な差」の割合が高くなっています。

性・年代別で見ると、女性の 20 歳から 40 歳代で「女性は結婚や出産、育児のために働き続けにくい」の割合が高くなっています。また、男性の 40 歳代以上で「男・女という性別によって役割が違うという意識」の割合が高く、5 割以上を占めています。

図 職場の男女差別の原因

図 性別でみる職場の男女差別の原因

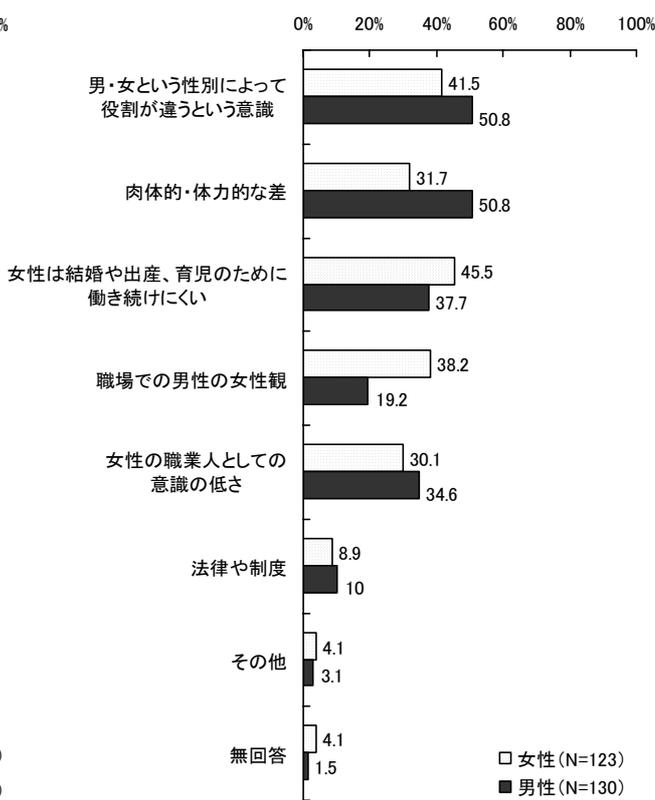
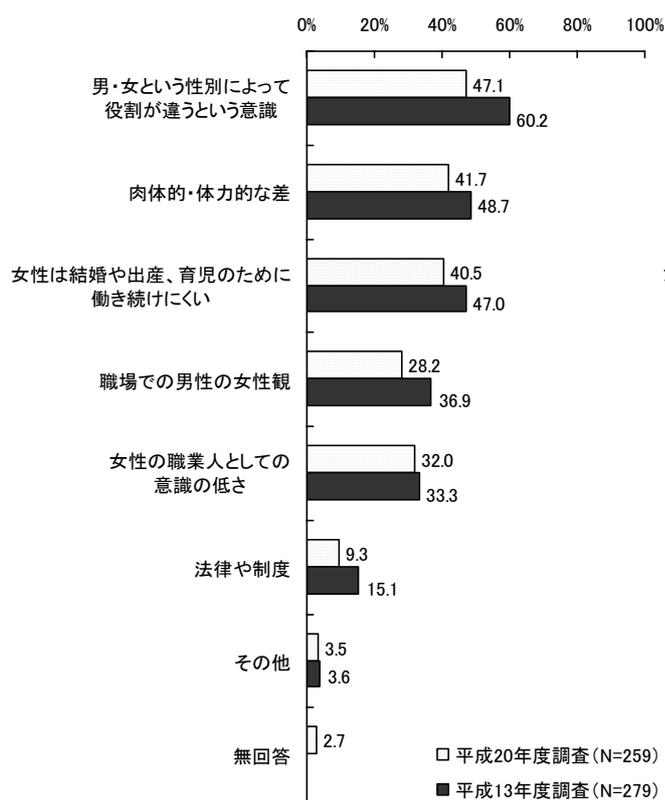
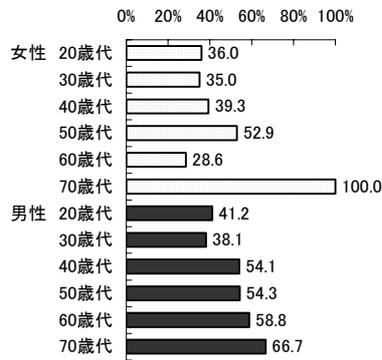
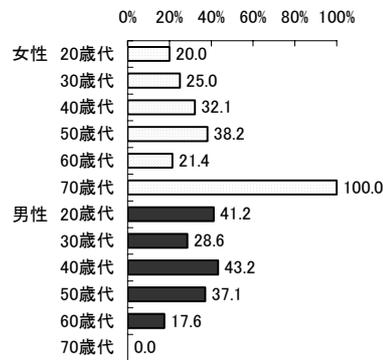


図 性・年齢別でみる職場の男女差別の原因

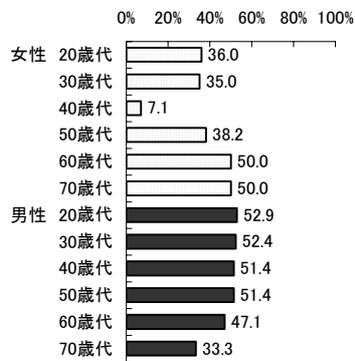
男・女という性別によって役割が違うという意識



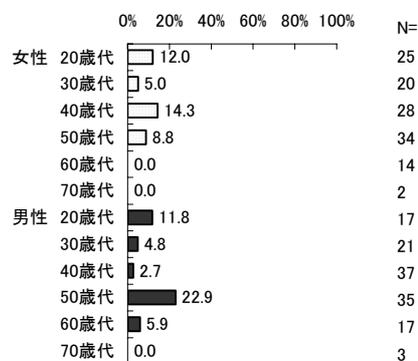
女性の職業人としての意識の低さ



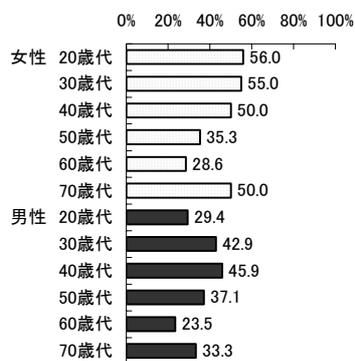
肉体的・体力的な差



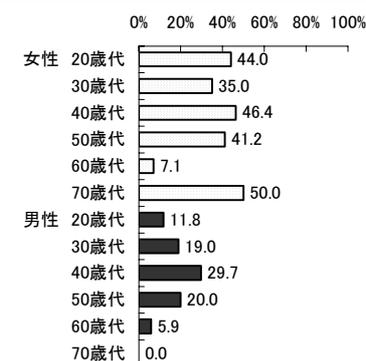
法律や制度



女性は結婚や出産、育児のために働き続けにくい



職場での男性の女性観



問 29 問 25 で「2. 働いていない」と答えた方におうかがいします。
 あなたが働いておられないのは、主にどのような理由からですか。
 (〇は3つまで)

働いていない理由については、「定年のため」の割合が最も高く 33.9%となっており、次いで「健康上の理由から」の割合が 19.9%、「家事に専念したいから」の割合が 17.9%となっています。

また、平成 13 年度調査結果と比較すると、「定年のため」、「働きたいが年齢制限があり働けないから」の割合が低くなっています。

性別で見ると、男性に比べ女性で「育児に手がかかるから」、「家事に専念したいから」の割合が高くなっています。また、女性に比べ男性で「定年のため」の割合が高くなっています。

性・年代別で見ると、女性の 30 歳代で「育児に手がかかるから」の割合が高くなっています。また、男性の 40 歳代、50 歳代で「健康上の理由から」の割合が高くなっています。

図 働いていない理由

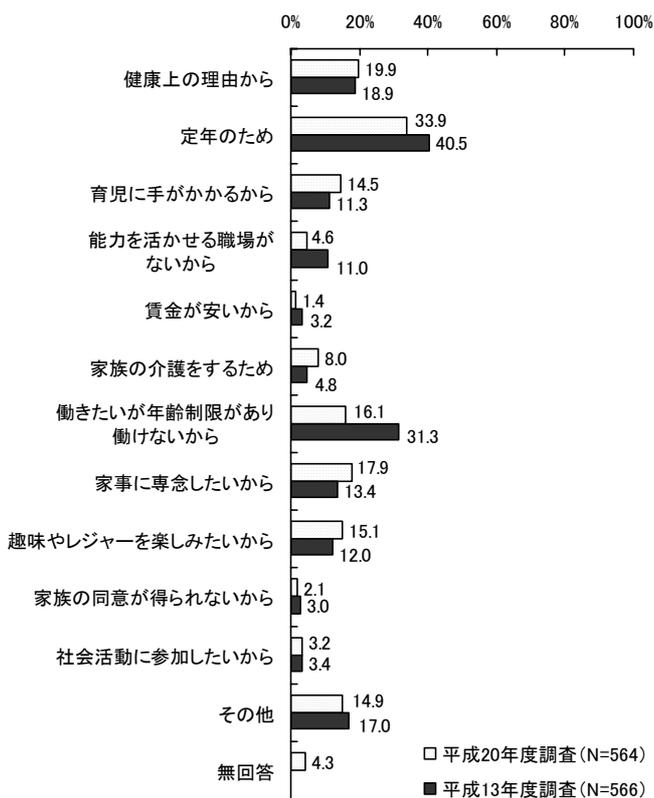


図 性別でみる働いていない理由

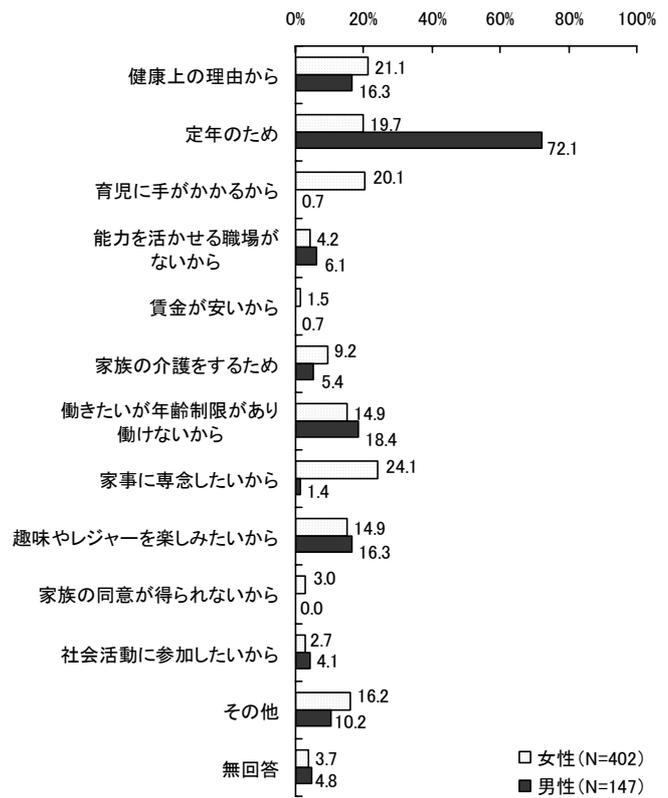
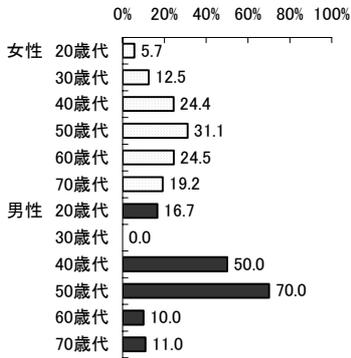
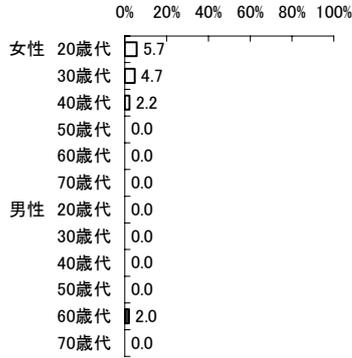


図 性・年代でみる働いていない理由

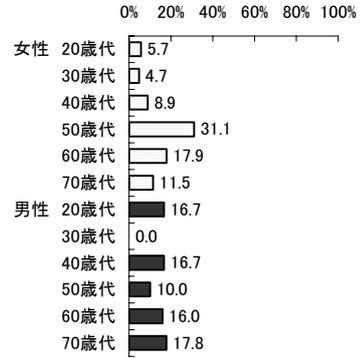
健康上の理由から



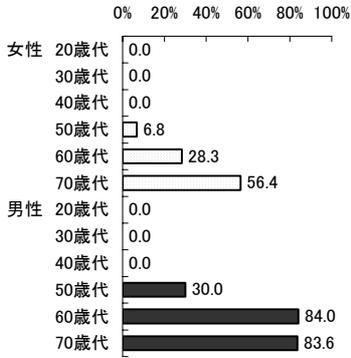
賃金が安いから



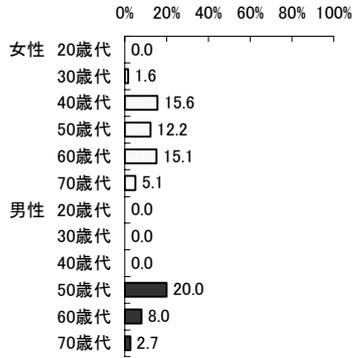
趣味やレジャーを楽しみたいから



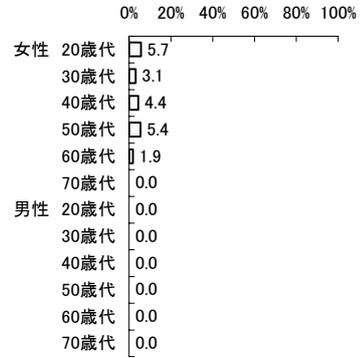
定年のため



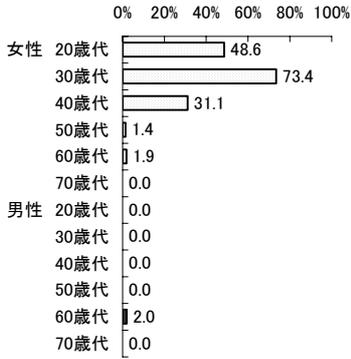
家族の介護をするため



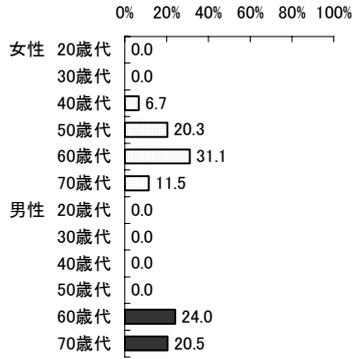
家族の同意が得られないから



育児に手がかかるから



働きたいが年齢制限があり働けないから

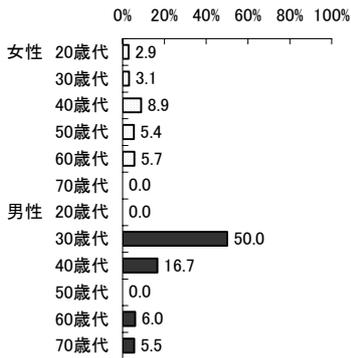


社会活動に参加したいから

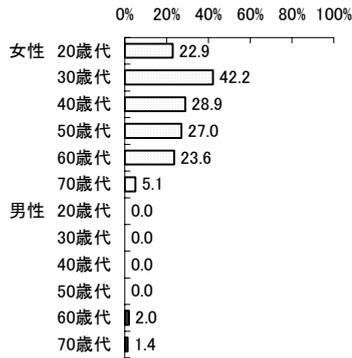


N= 35
64
45
74
106
78
6
2
6
10
50
73

能力を活かせる職場がないから



家事に専念したいから



(8) セクシュアル・ハラスメント（性的いやがらせ）について

問 30 あなたは、次にあげることがらを、セクシュアル・ハラスメントといますか。
(1～14のそれぞれ1つに○)

分野別でみると、ほとんどの分野で「少し思う」「非常に思う」を合わせたセクシュアル・ハラスメントと思う人の割合が高くなっています。特に、他の分野に比べ「性的関係を強要される」「性的な内容の手紙を送られたり、電話をされる」、「わざと体に触られる」、「性的な噂を流される」、「他の人がセクハラと思われる行為を受けているのを見て不快に感じる」ではセクシュアル・ハラスメントと思う人の割合が高く、8割以上を占めています。また、他の分野に比べ「女の子」、「男の子」などと呼ばれる」では「全く思わない」「あまり思わない」をあわせたセクシュアル・ハラスメントと思わない人の割合が高くなっています。

また、平成13年度調査結果と比較すると、「性的魅力をアピールするような服装や振る舞いを見せられる」、「性的なからかいや冗談などを言われる」、「食事などに執拗に誘われる」、「裸や水着姿のポスターなどを職場に貼られる」でセクシュアル・ハラスメントと思う人の割合が高くなっています。

図 セクシュアル・ハラスメントと思うか（平成 20 年度調査）

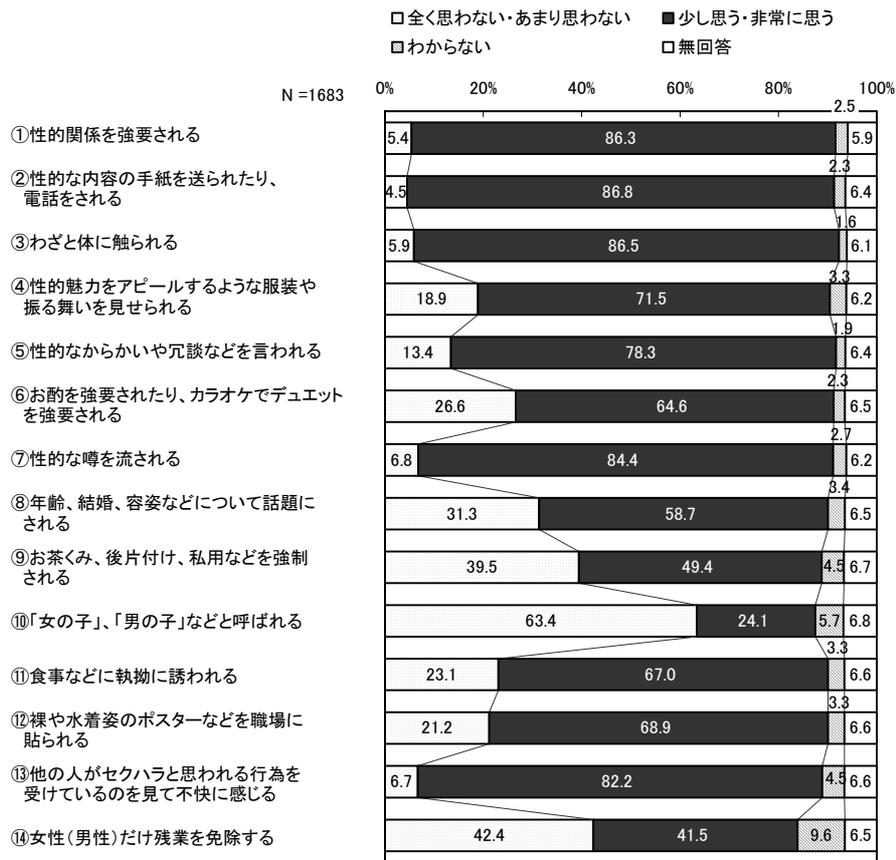
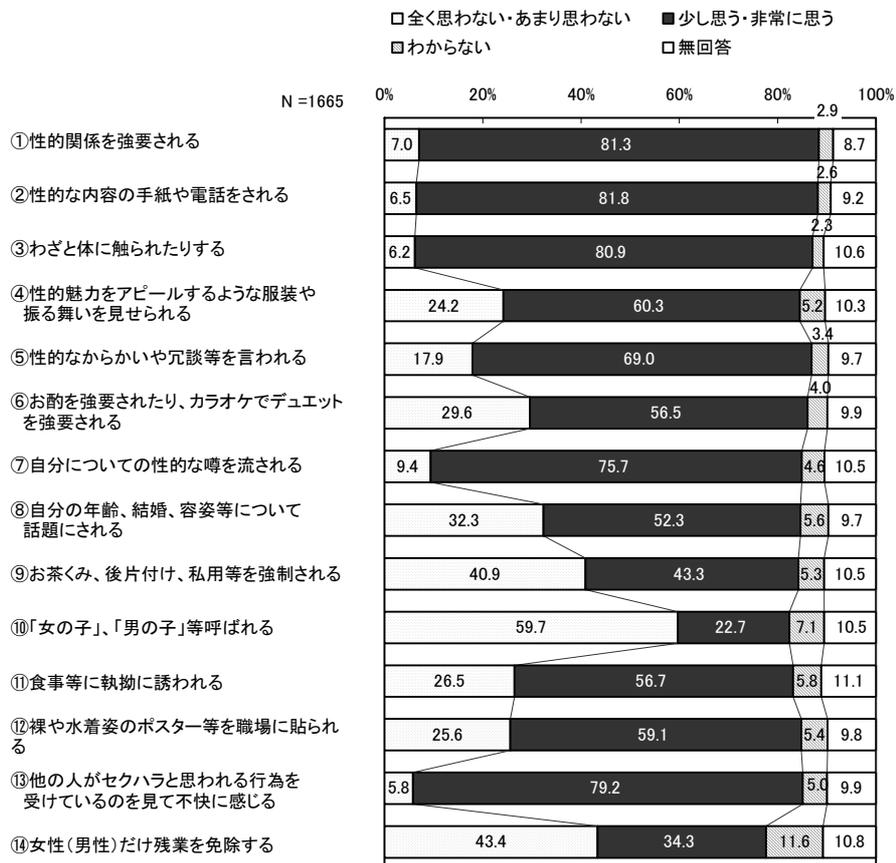
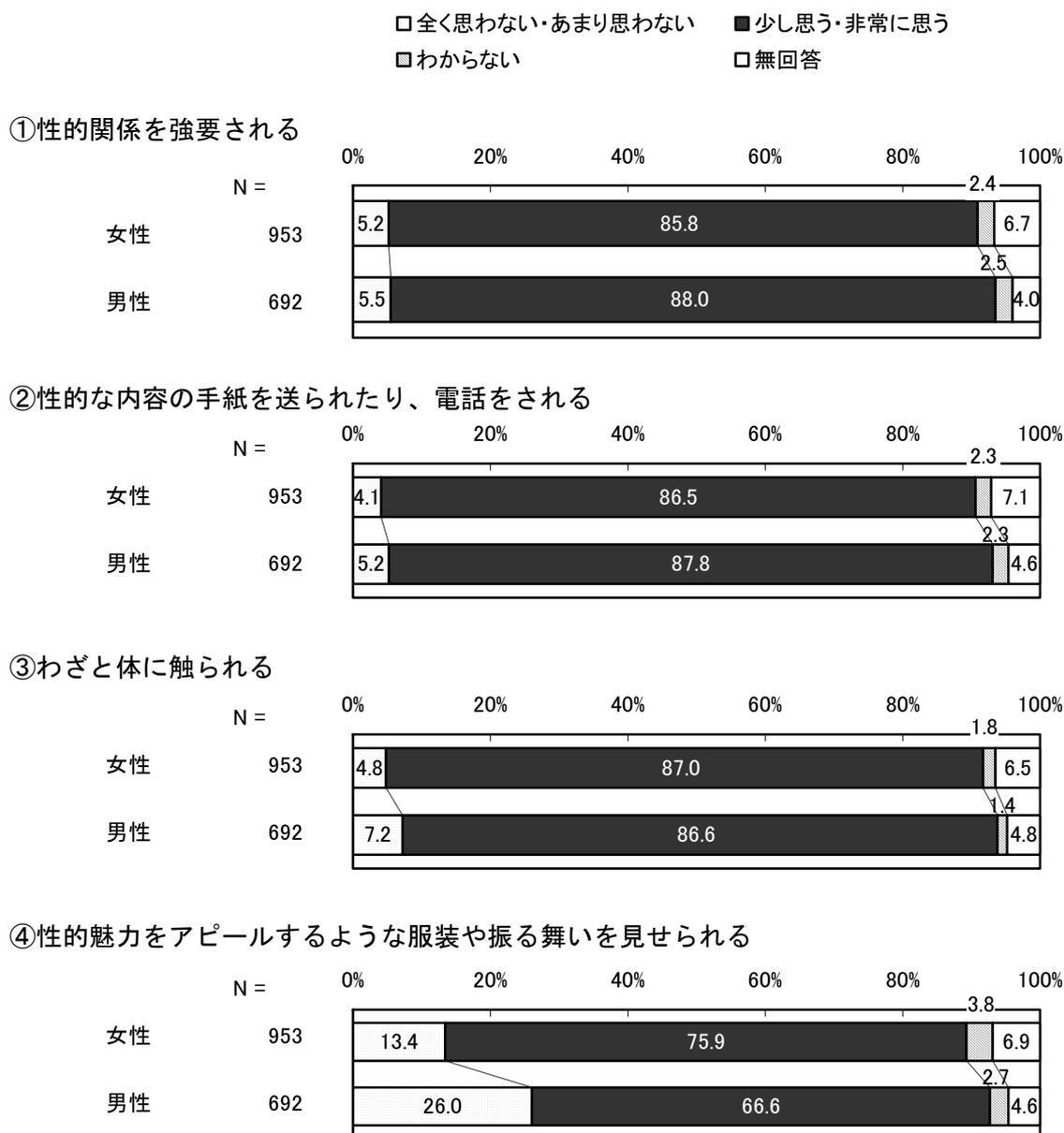


図 セクシュアル・ハラスメントと思うか（平成 13 年度調査）



性別でみると、「性的魅力をアピールするような服装や振る舞いを見せられる」では男性に比べ女性でセクシュアル・ハラスメントと思う人の割合が高くなっています。その他の分野では、性別による大きな差異はみられません。

図 性別でみるセクシュアル・ハラスメントと思うか

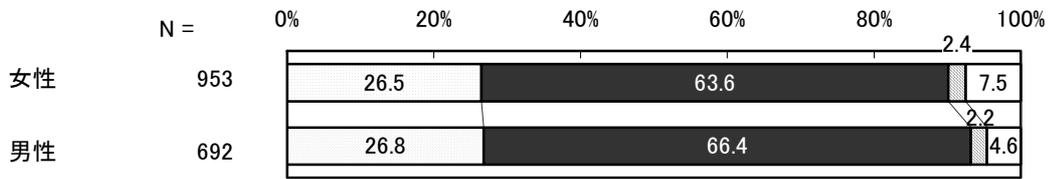


全く思わない・あまり思わない 少し思う・非常に思う
 わからない 無回答

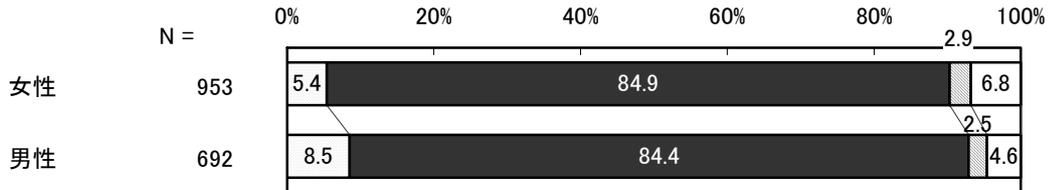
⑤性的なからかいや冗談などと言われる



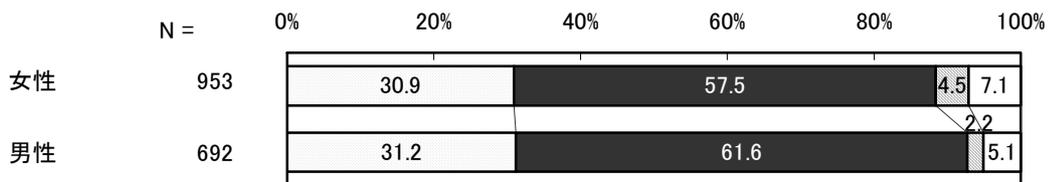
⑥お酌を強要されたり、カラオケでデュエットを強要される



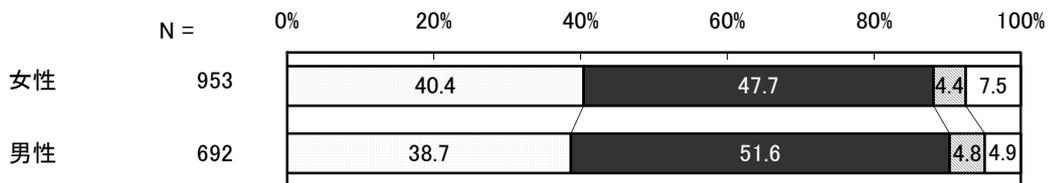
⑦性的な噂を流される



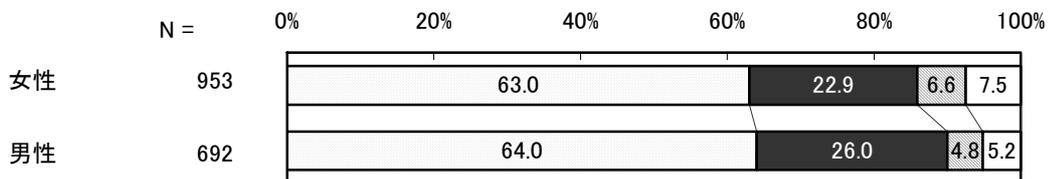
⑧年齢、結婚、容姿などについて話題にされる



⑨お茶くみ、後片付け、私用などを強制される

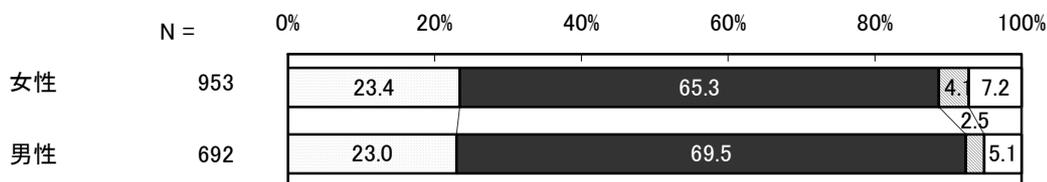


⑩「女の子」、「男の子」などと呼ばれる

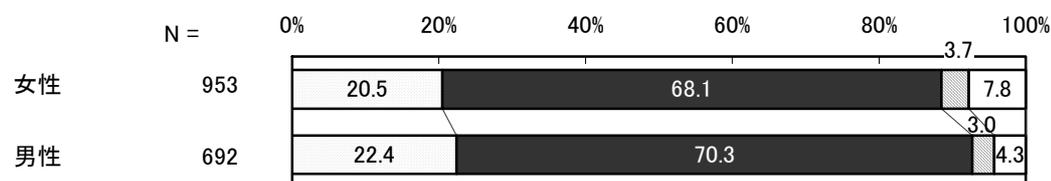


□ 全く思わない・あまり思わない ■ 少し思う・非常に思う
 □ わからない □ 無回答

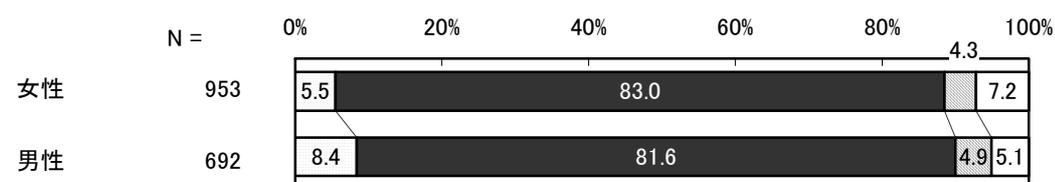
⑪ 食事などに執拗に誘われる



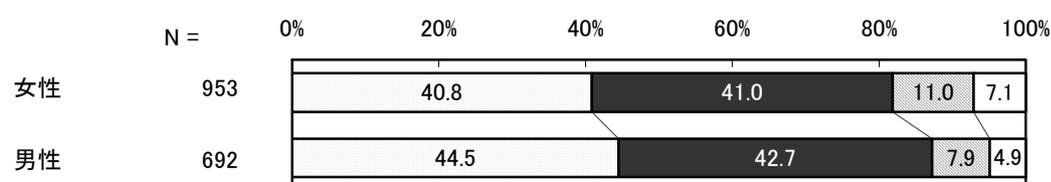
⑫ 裸や水着姿のポスターなどを職場に貼られる



⑬ 他の人がセクハラと思われる行為を受けているのを見て不快に感じる



⑭ 女性（男性）だけ残業を免除する

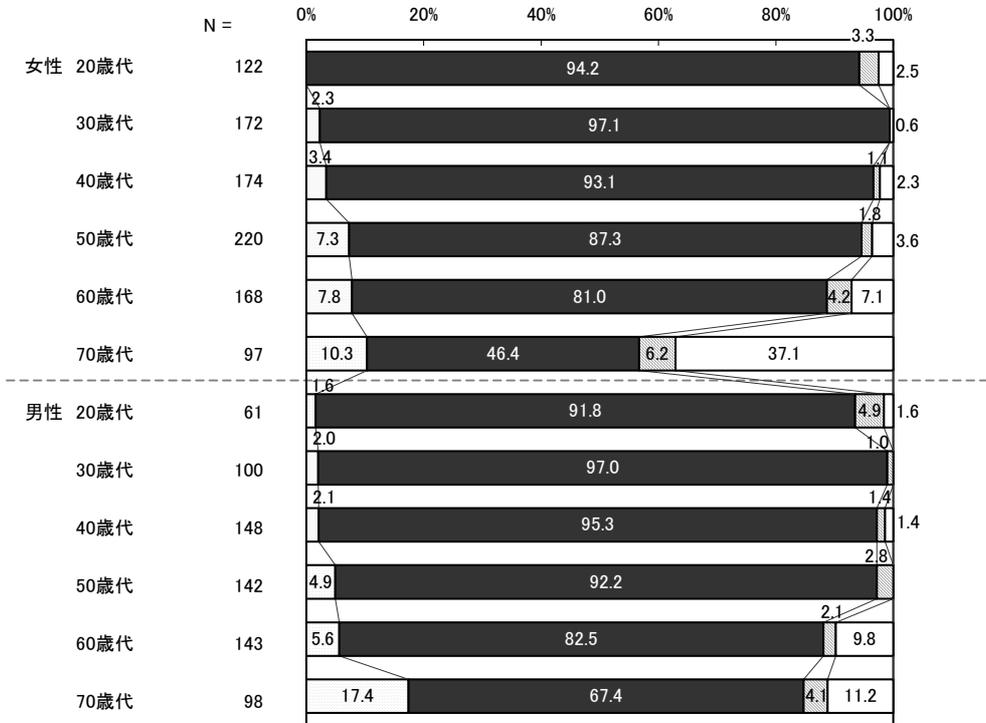


性・年代別でみると、全ての分野で、男女ともに70歳代に比べ60歳代以下でセクシュアル・ハラスメントと思う人の割合が高く、特に、「性的関係を強要される」、「性的な内容の手紙を送られたり、電話をされる」、「わざと体に触られる」、「性的なからかいや冗談などを言われる」、「性的な噂を流される」、「他の人がセクハラと思われる行為を受けているのを見て不快に感じる」では8割以上を占めています。

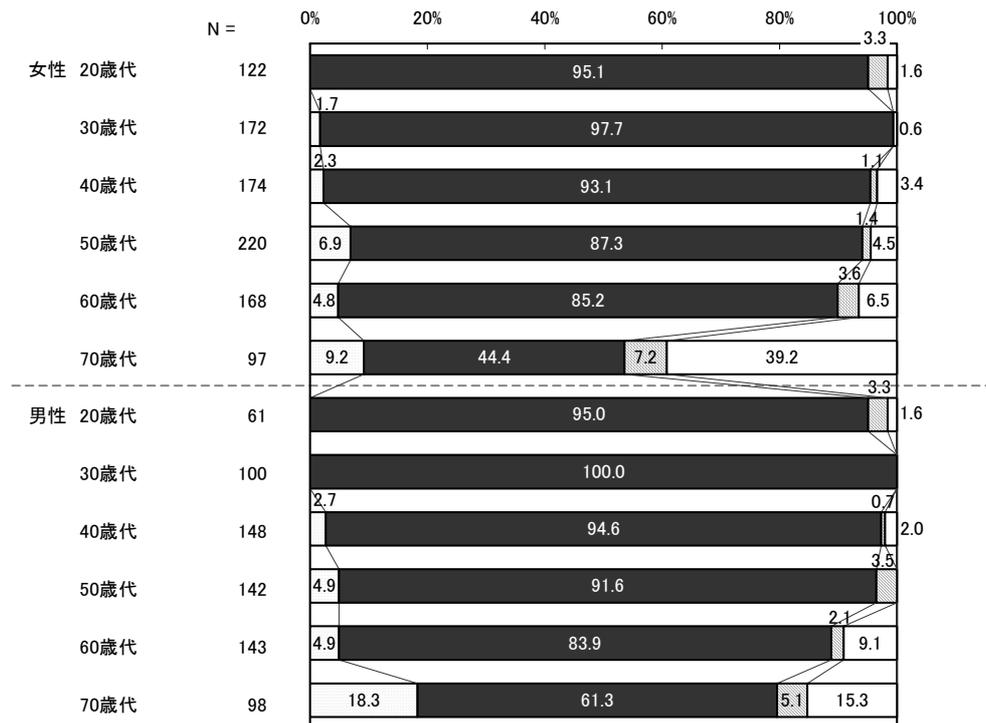
図 性・年代別でみるセクシュアル・ハラスメントと思うか

□ 全く思わない・あまり思わない ■ 少し思う・非常に思う
 □ わからない □ 無回答

①性的関係を強要される

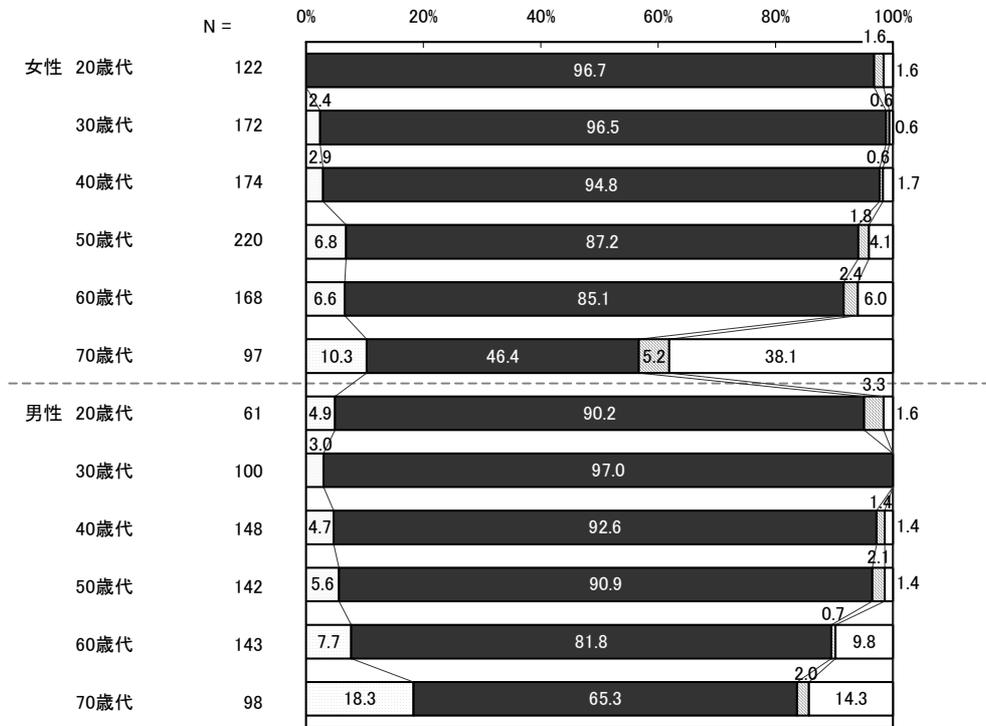


②性的な内容の手紙を送られたり、電話をされる

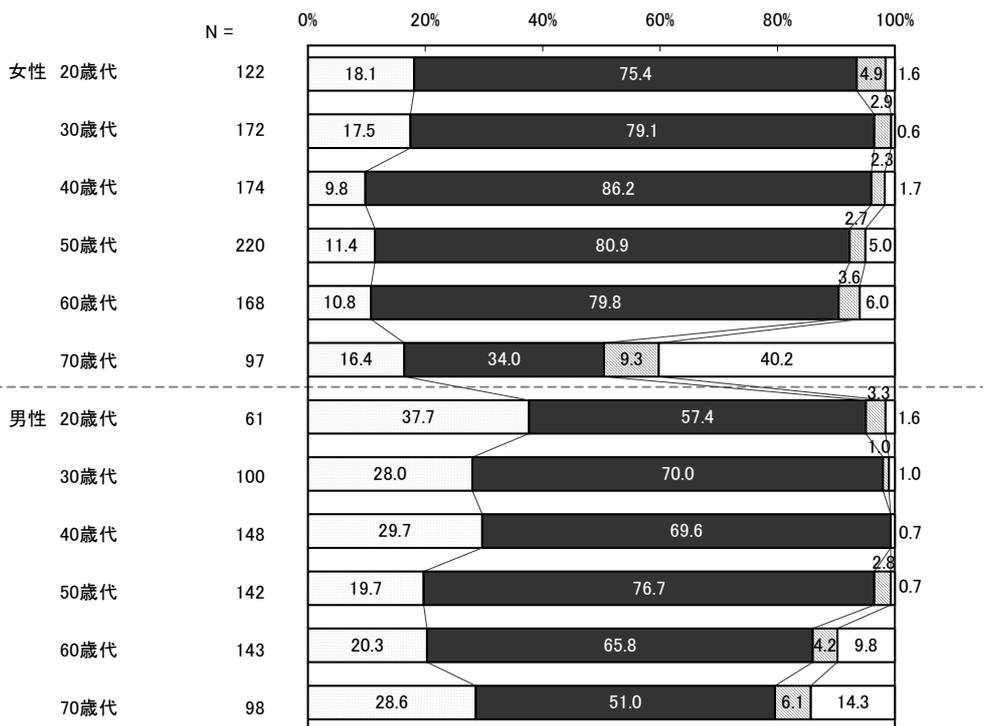


□全く思わない・あまり思わない ■少し思う・非常に思う
□わからない □無回答

③わざと体に触られる

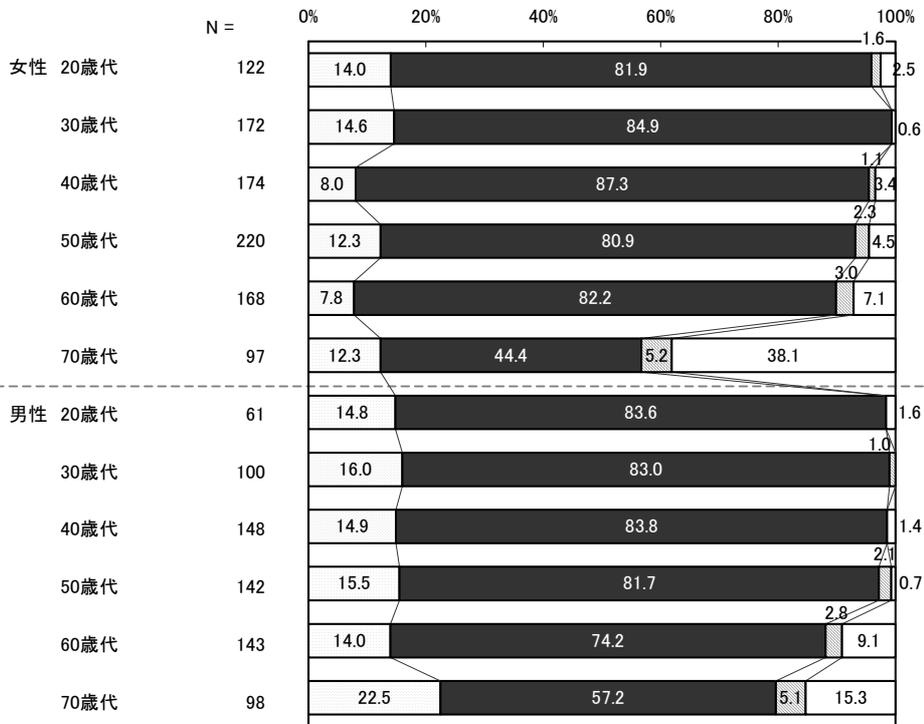


④性的魅力をアピールするような服装や振る舞いを見せられる

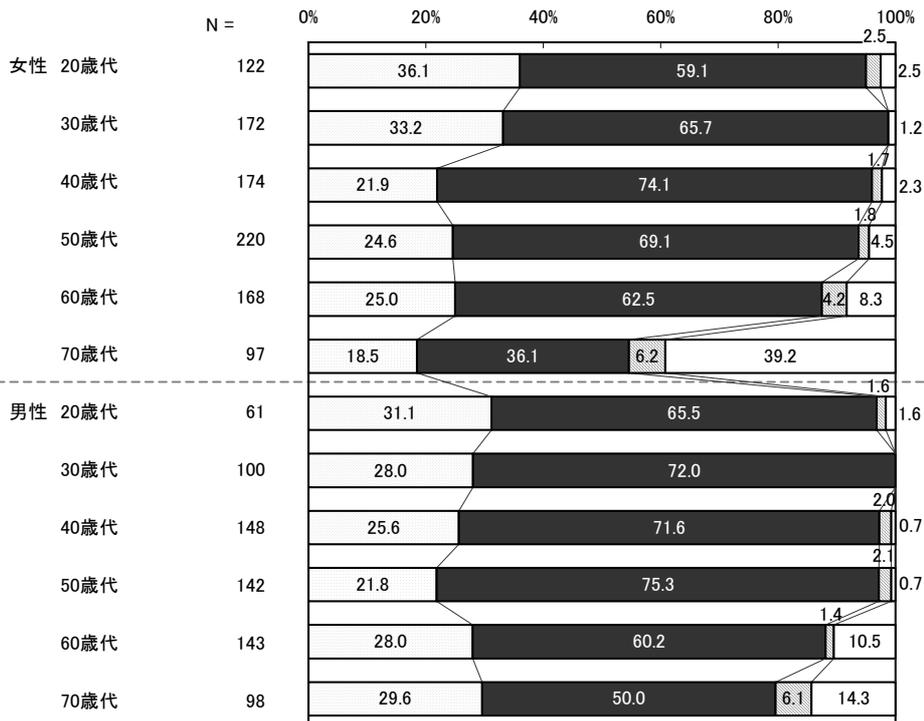


□ 全く思わない・あまり思わない ■ 少し思う・非常に思う
□ わからない □ 無回答

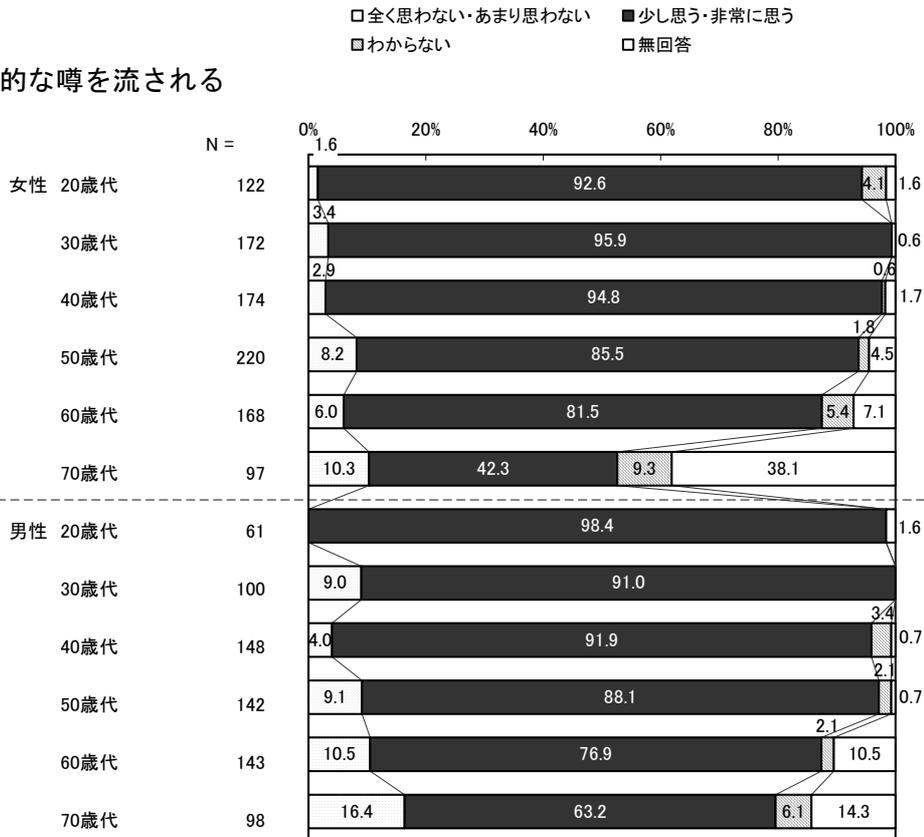
⑤性的なからかいや冗談などを言われる



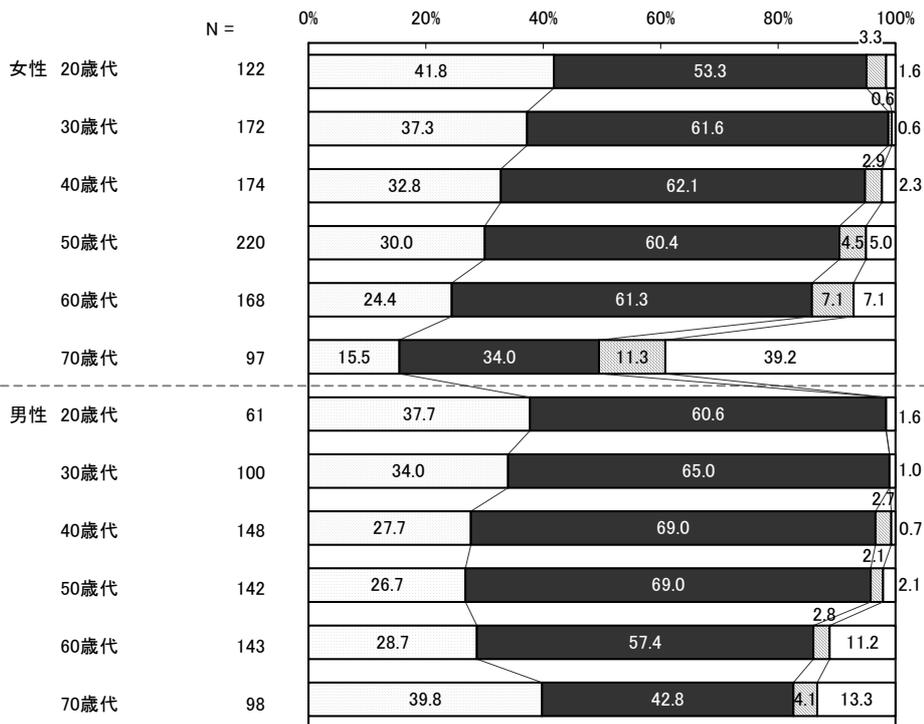
⑥お酌を強要されたり、カラオケでデュエットを強要される



⑦性的な噂を流される

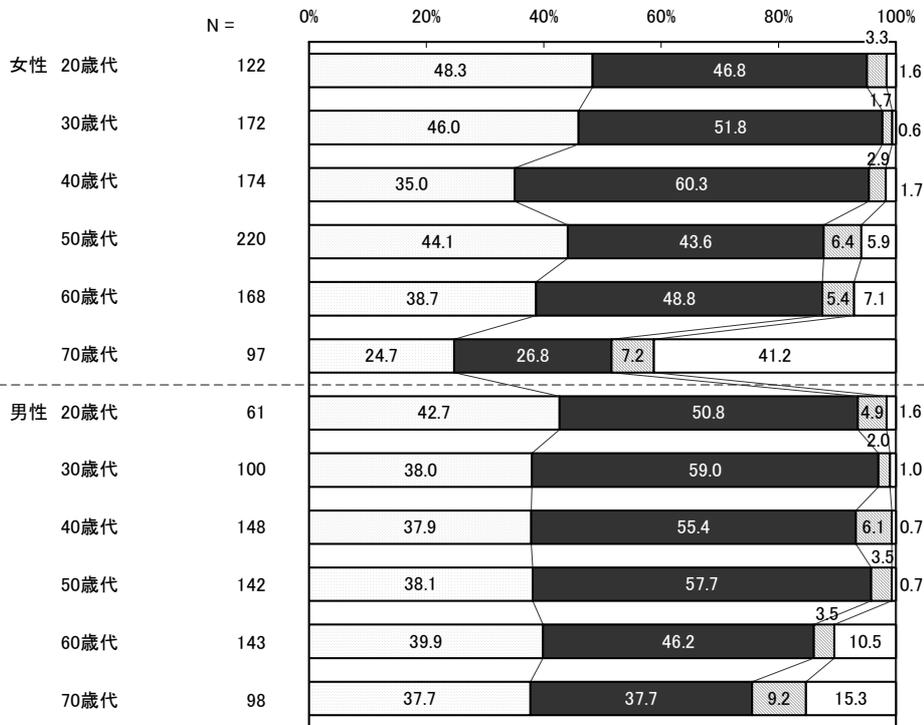


⑧年齢、結婚、容姿などについて話題にされる

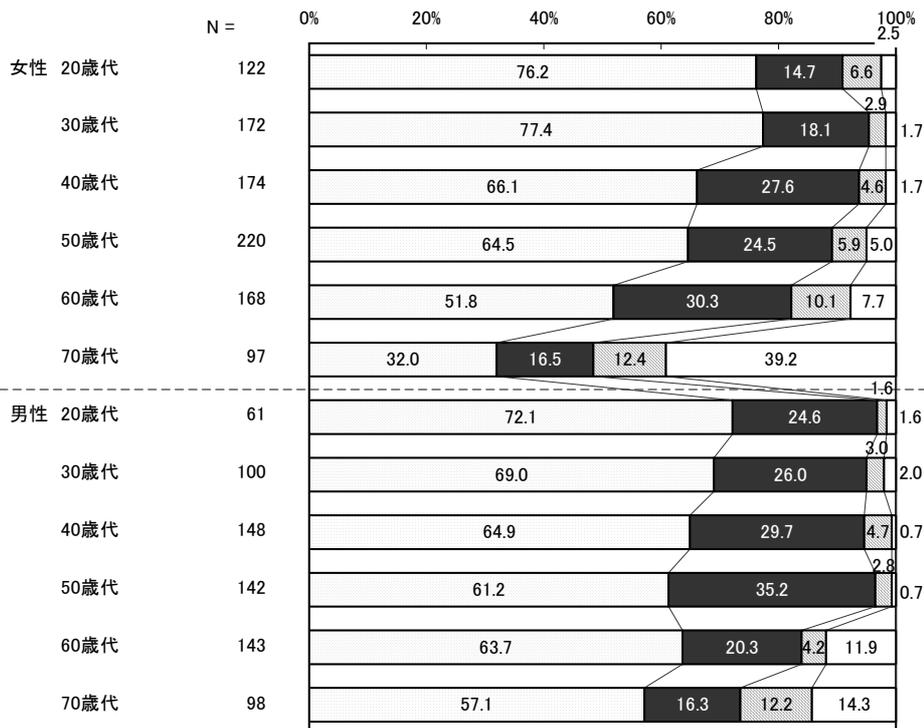


□全く思わない・あまり思わない ■少し思う・非常に思う
□わからない □無回答

⑨お茶くみ、後片付け、私用などを強制される

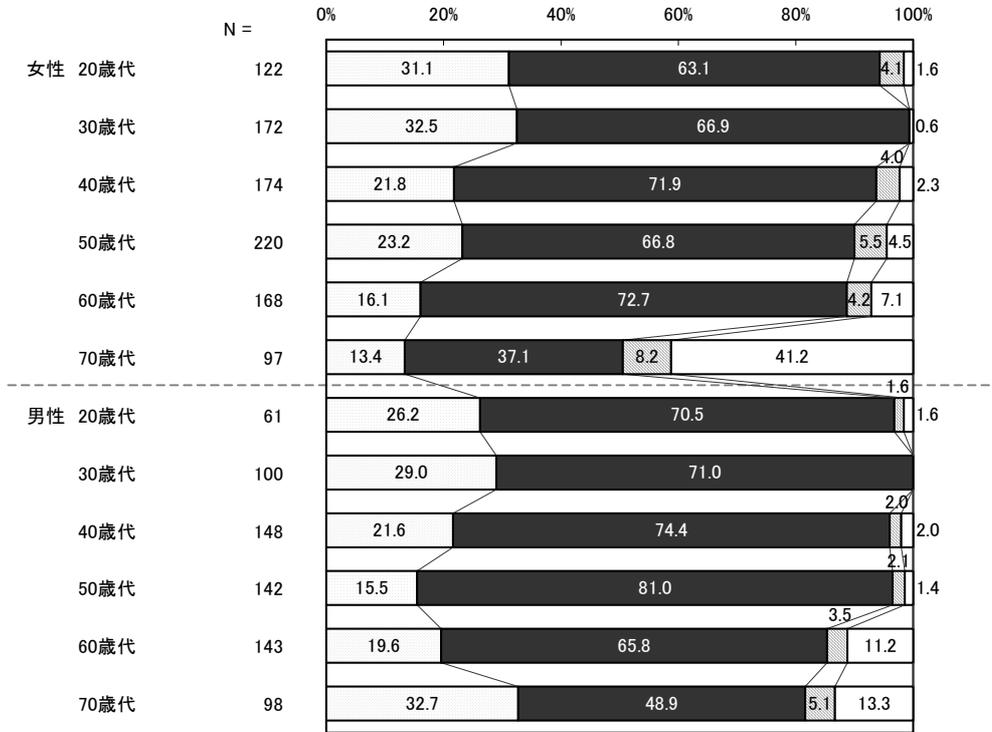


⑩「女の子」、「男の子」などと呼ばれる

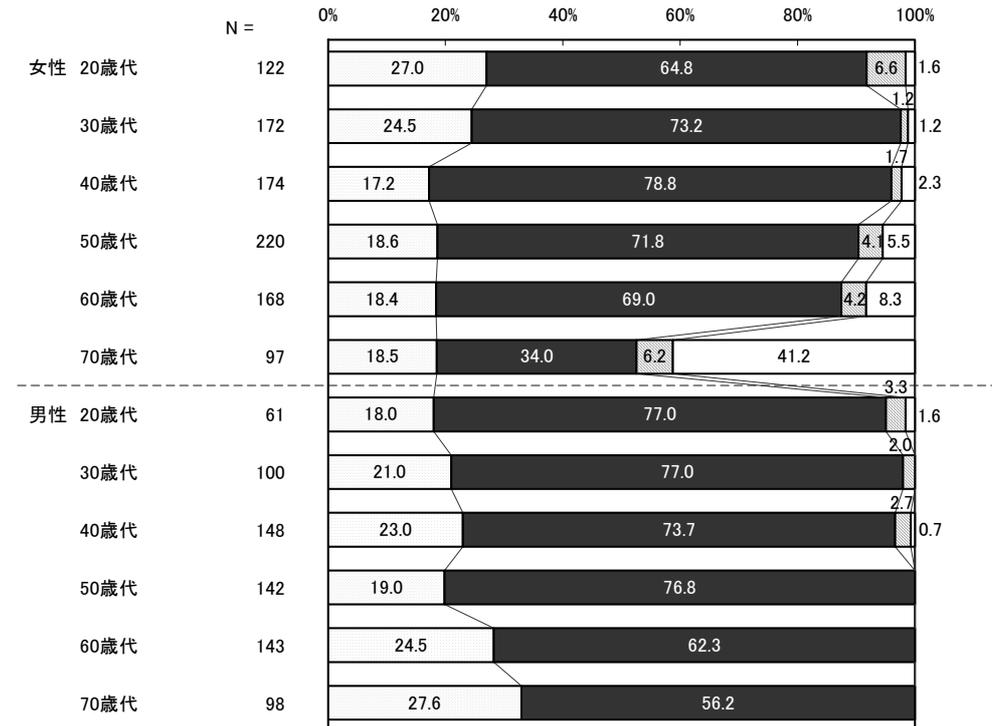


全く思わない・あまり思わない 少し思う・非常に思う
 わからない 無回答

⑪ 食事などに執拗に誘われる

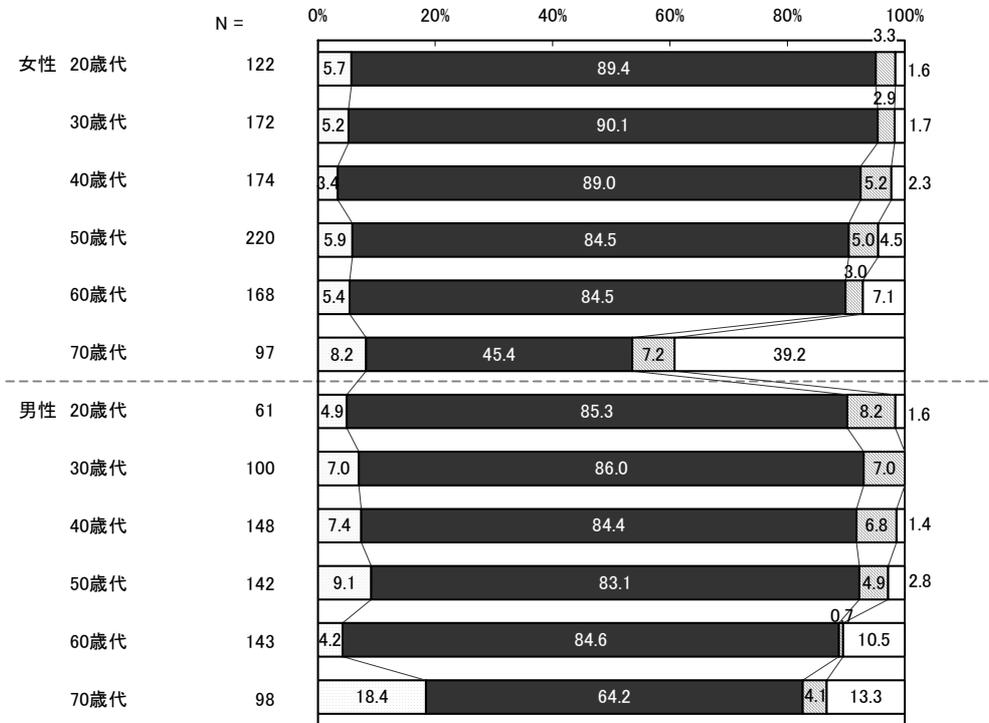


⑫ 裸や水着姿のポスターなどを職場に貼られる

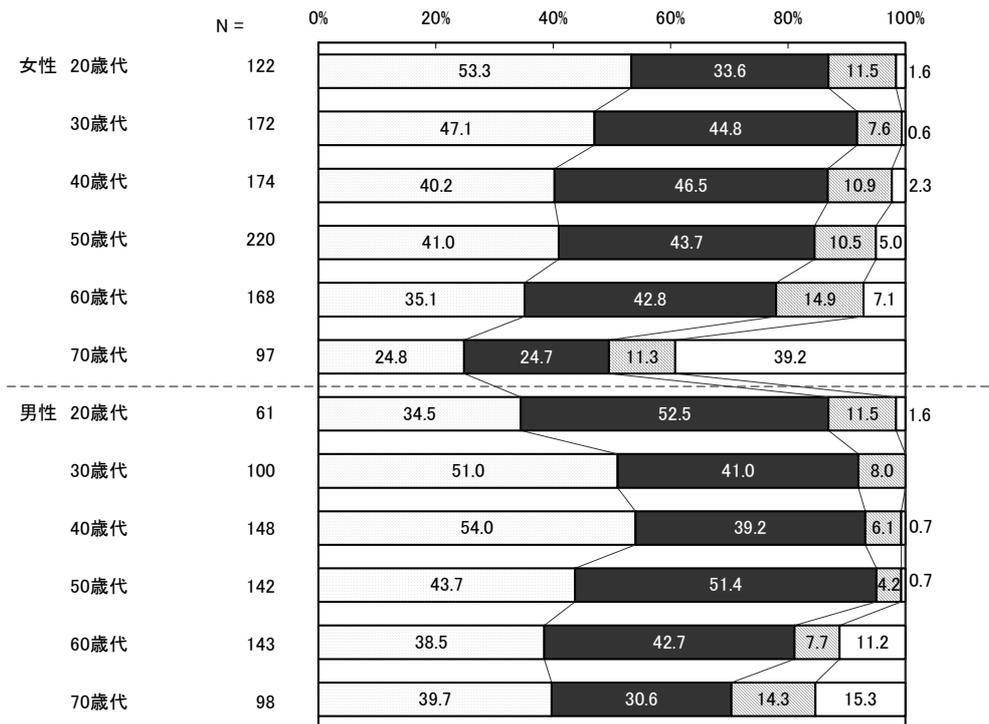


□ 全く思わない・あまり思わない ■ 少し思う・非常に思う
 □ わからない □ 無回答

⑬他の人がセクハラと思われる行為を受けているのを見て不快に感じる



⑭女性（男性）だけ残業を免除する



問 31 あなたは、これまでにセクシュアル・ハラスメントを受けたことがありますか。

セクシュアル・ハラスメントの経験の有無については、「受けたことがある」の割合が 15.2%、「受けたことがない」の割合が 79.0%となっています。

また、平成 13 年度調査結果と比較すると、大きな差異はみられません。

性別で見ると、男性に比べ女性で「受けたことがある」の割合が高くなっています。

性・年代別で見ると、30 歳代の女性で「受けたことがある」の割合が最も高くなっています。

図 セクシュアル・ハラスメントの経験の有無

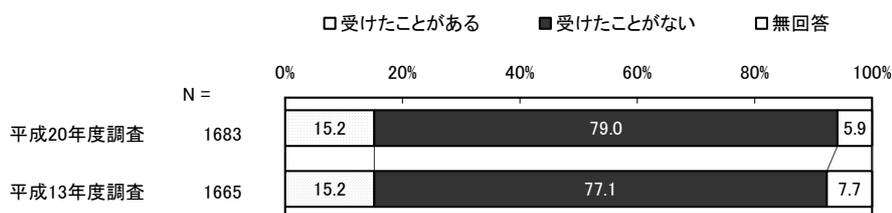


図 性別でみるセクシュアル・ハラスメントの経験の有無

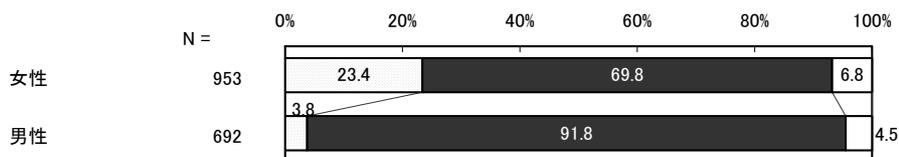
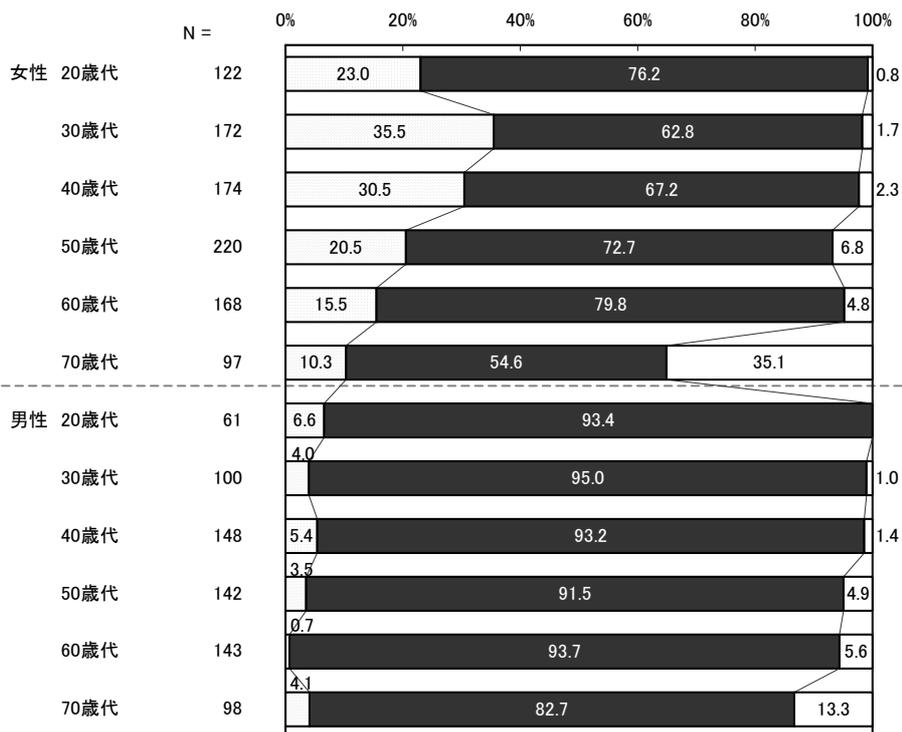


図 性・年代別でみるセクシュアル・ハラスメントの経験の有無



問32 問31で「1. 受けたことがある」と答えた方におうかがいします。
 あなたは、セクシュアル・ハラスメントに対して、どのように対処しましたか。
 (あてはまるものすべてに○)

セクシュアル・ハラスメントの対処については、「我慢した」の割合が最も高く 61.6%となっており、次いで「友人や同僚に相談した」の割合が 30.2%、「相手に苦痛であると言った」の割合が 25.5%となっています。

また、平成13年度調査結果と比較すると、大きな差異はみられません。

性別で見ると、男性に比べ女性で「仕事や学校を辞めた」、「友人や同僚に相談した」の割合が高くなっています。また、女性に比べ男性で「我慢した」の割合が高くなっています。

性・年代別で見ると、女性の50歳代で「我慢した」の割合が低く、20歳代、50歳代で「友人や同僚に相談した」の割合が高くなっています。男性の年代別については、有効回答数が少数であり、統計上の信頼度が確保できないためコメントは差し控えます。

図 セクシュアル・ハラスメントの対処

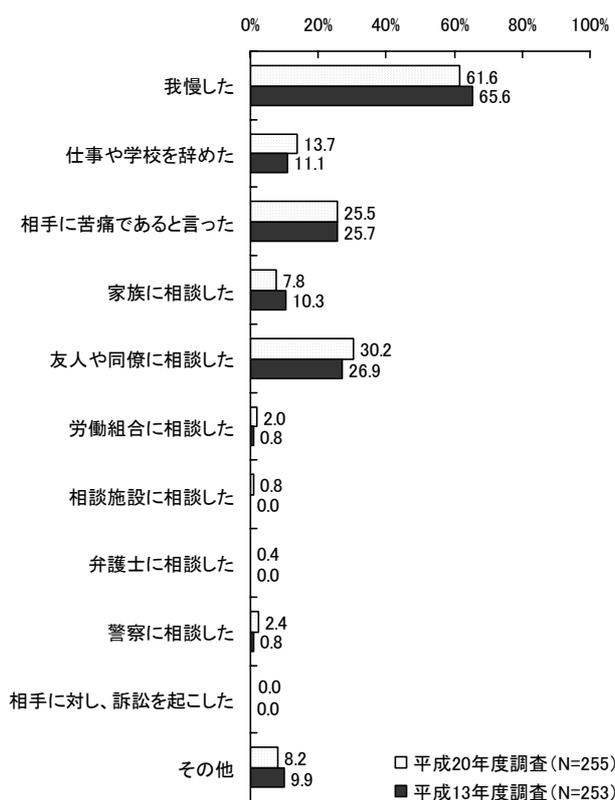


図 性別でみるセクシュアル・ハラスメントの対処

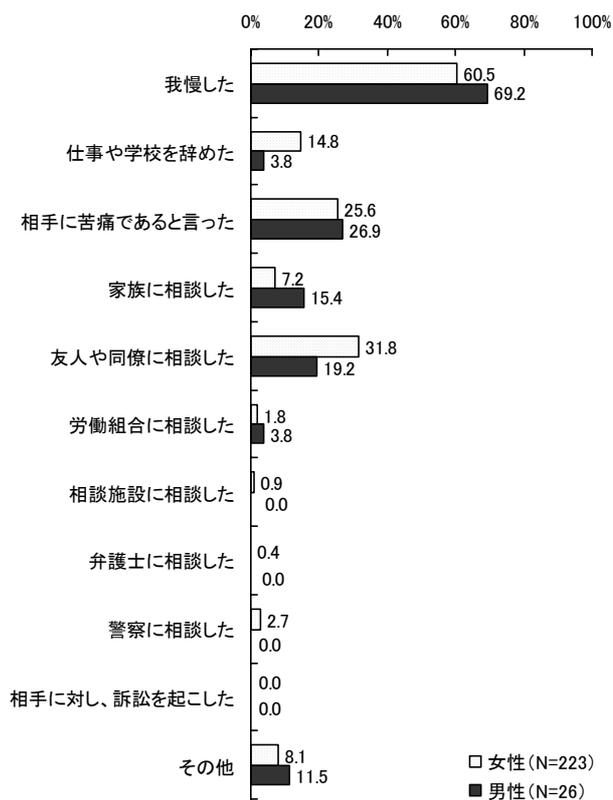
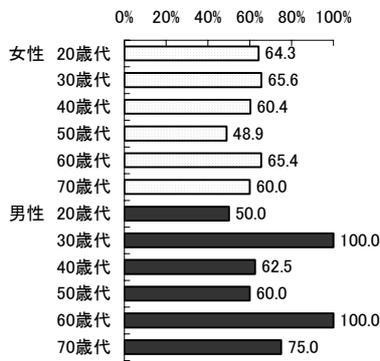
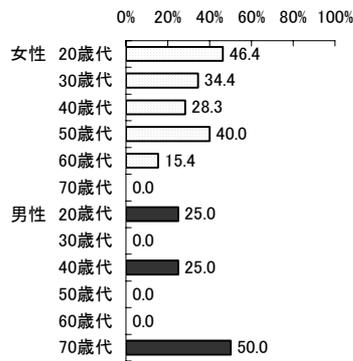


図 性・年代でみるセクシュアル・ハラスメントの対処

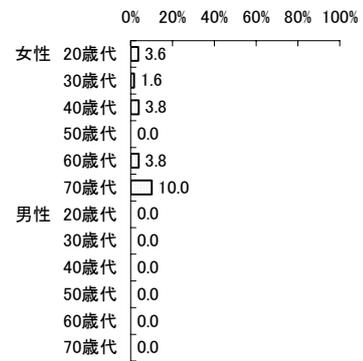
我慢した



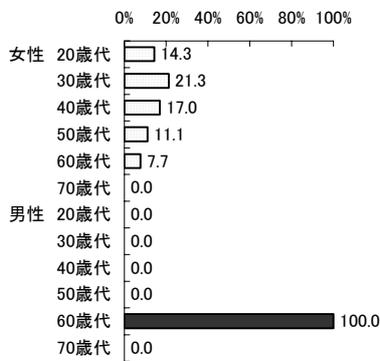
友人や同僚に相談した



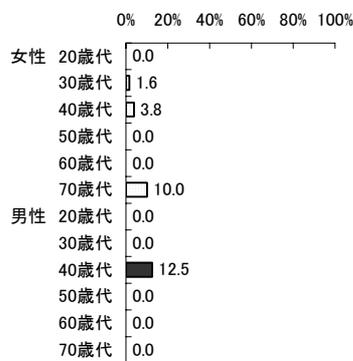
警察に相談した



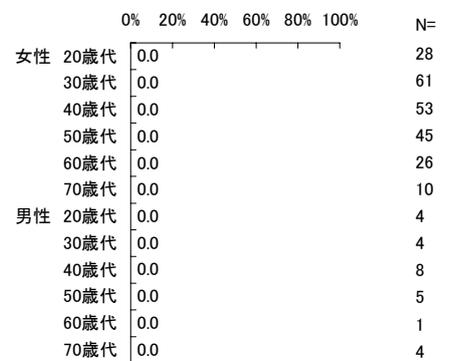
仕事や学校を辞めた



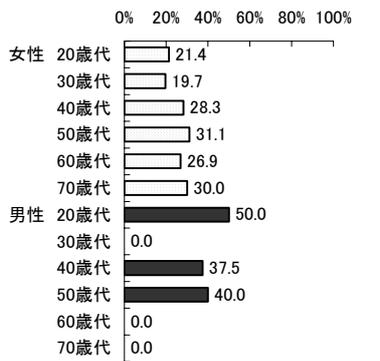
労働組合に相談した



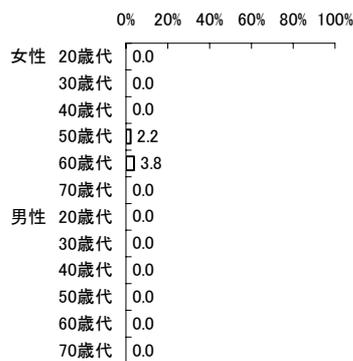
相手に対し、訴訟を起こした



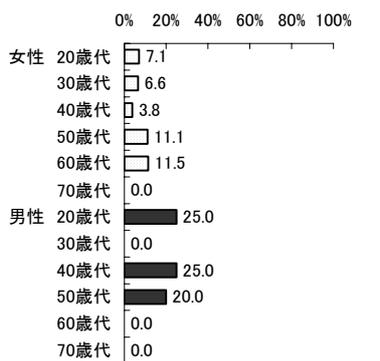
相手に苦痛であると言った



相談施設に相談した



家族に相談した



弁護士に相談した



問 33 あなたは、セクシュアル・ハラスメントを防止するために、どのような対策が必要だと思いますか。(〇は2つまで)

セクシュアル・ハラスメントを防止するための対策については、「事業主が対策に取り組む」の割合が最も高く 45.9%となっており、次いで「自分の言動に対しそれぞれが自覚する」の割合が 32.6%、「相談機関を設置する」の割合が 27.1%となっています。

性別でみると、男性に比べ女性で「事業主が対策に取り組む」の割合が高くなっています。

性・年代別でみると、女性の 30 歳代、40 歳代で「事業主が対策に取り組む」の割合が高く、60 歳代で「被害者が毅然と対応する」の割合が高くなっています。また、男性の 30 歳代で「事業主が対策に取り組む」の割合が高く、20 歳代で「法律的に規制を作る」の割合が高く、50 歳代で「自分の言動に対しそれぞれが自覚する」の割合が高くなっています。

図 性別でみるセクシュアル・ハラスメントを防止するための対策

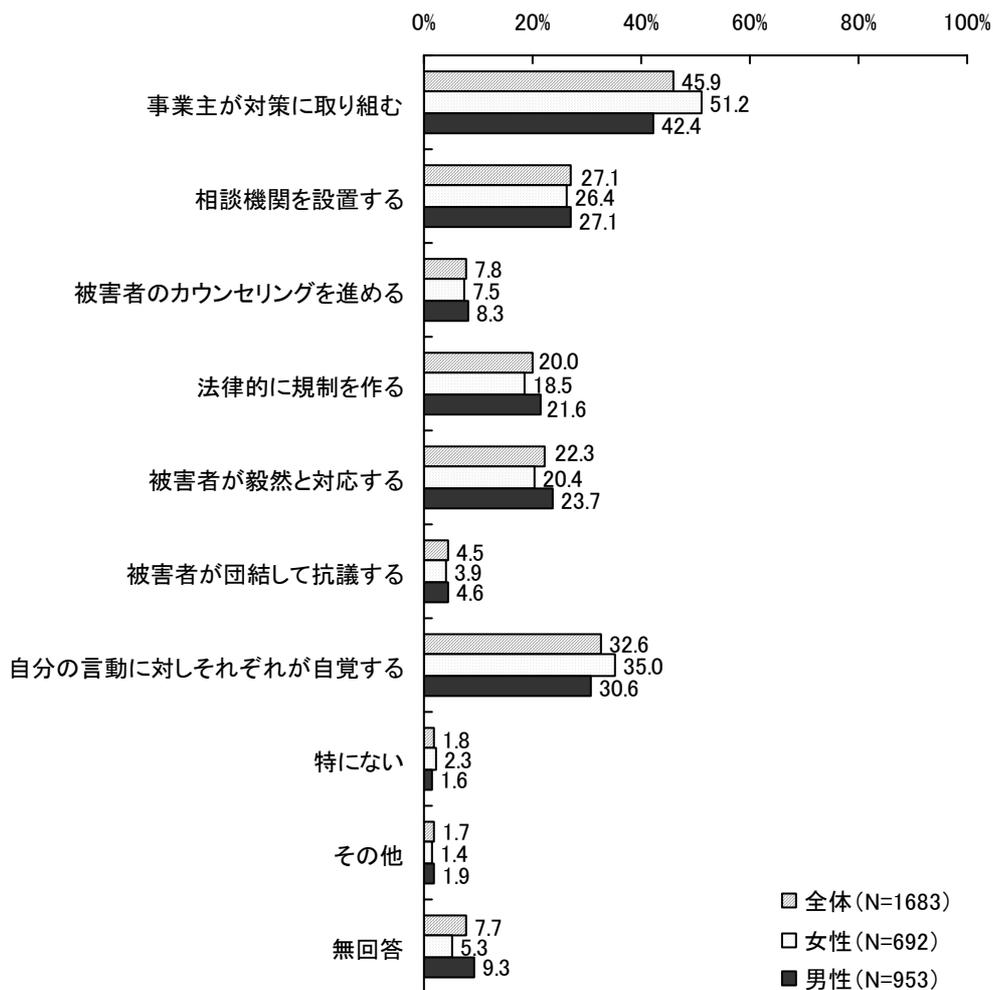
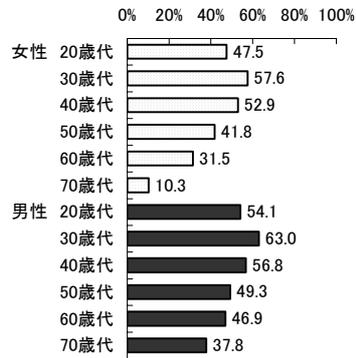
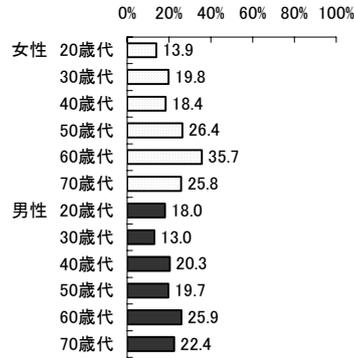


図 性・年代別でみるセクシュアル・ハラスメントを防止するための対策

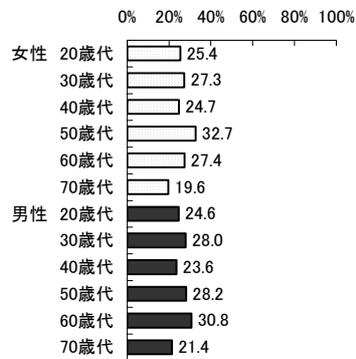
事業主が対策に取り組む



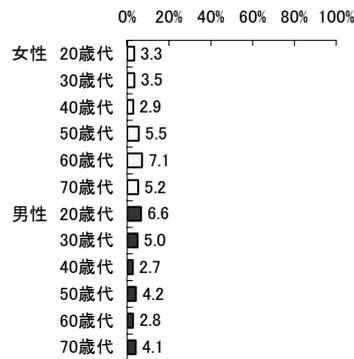
被害者が毅然と対応する



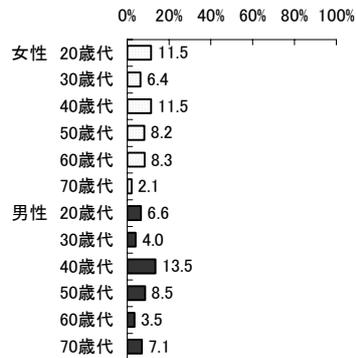
相談機関を設置する



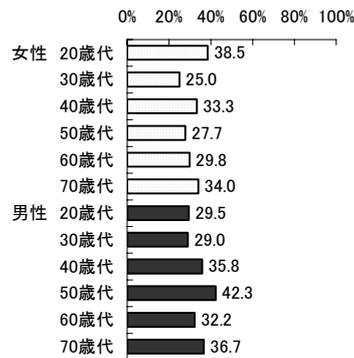
被害者が団結して抗議する



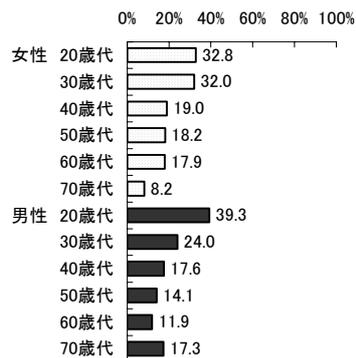
被害者のカウンセリングを進める



自分の言動に対しそれぞれが自覚する



法律的に規制を作る



特にない

